

## 平成22年9月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社まんだらけ

コード番号 2652 URL <http://www.mandarake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古川 益蔵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第1四半期の業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	1,891	4.0	120	36.2	93	66.4	50	67.7
21年9月期第1四半期	1,818	—	88	—	56	—	30	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	45.59	—
21年9月期第1四半期	8,156.25	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
22年9月期第1四半期	8,747	—	2,821	32.2	—	—	2,555.42	
21年9月期	8,494	—	2,777	32.7	—	—	2,514.97	

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 2,821百万円 21年9月期 2,777百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,795	0.9	163	9.9	87	12.4	46	12.9	38.66
通期	7,781	0.9	375	3.1	250	3.0	135	1.2	112.20

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	1,206,000株	21年9月期	1,206,000株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	101,700株	21年9月期	101,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第1四半期	1,104,300株	21年9月期第1四半期	3,681株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は4ページ「定性的情報・財務諸表等3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間のわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受けた景気の急激な冷え込みから回復傾向にあるものの、企業の設備投資は低調であり、また緩やかなデフレ状態にあって、雇用情勢の悪化から個人消費は低迷しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社が属するまんが、アニメ関連業界及び古物取扱業界におきましては、個人における生活防衛意識の高まりによって、景気の影響を大きく受けることなく業況は推移しておりますが、業界への新規参入意欲と既存各社の拡大基調によって、企業間の競争は激化の一途をたどっております。

このような経済環境におきまして、当社はこれまでの方針を継続し、全事業での積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の売上高は1,891百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は120百万円（前年同四半期比36.2%増）、経常利益は93百万円（前年同四半期比66.4%増）、四半期純利益は50百万円（前年同四半期比67.7%増）となりました。

品目別では、大人のための精密、高機能商材が人気を集め、新たな市場拡大が見られる「TOYS」の売上高は503百万円（前年同四半期比16.2%増）となりました。また、ブームの先駆けとなった作品の新作公開や原作者自らが製作に携わるなど年齢、性別を超えた話題性が尽きることのない日本のアニメーション人気の上昇によりDVD、ゲーム等を擁する「その他」の売上高は514百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。さらに、相次ぐTVドラマ化や映画化によって、その原作まんがが注目を集める「本」の売上高は401百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。加えて、国内外でファンは増加し続け、市場規模と商材の何れも成長過程にある同人誌市場を反映して「同人誌」は466百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産は、8,747百万円となりました。これは、主に商品及び製品の増加によるものであります。

負債につきましては、5,925百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加が、短期及び長期借入金の返済を上回ることによるものであります。

純資産につきましては、四半期利益の計上により、2,821百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前会計期間末に比べ107百万円増加し、当第1四半期末には279百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、61百万円となりました。これは主に税引前当期純利益93百万円、減価償却費41百万円に対し、たな卸資産の増加が125百万円、その他の流動負債の減少が61百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、8百万円となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が10百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、160百万円となりました。これは主に、長期借入による収入550百万円が、短期及び長期借入の返済による支出を、上回ることによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期も、わが国が誇る文化としてのまんが、アニメーションを世界に向けて広く紹介する営業活動を展開してまいります。さらにまんが、アニメーション関連に限らず、あらゆる中古品に目を向け、その価値を追求して新たな市場の開拓と定着に取り組んでまいります。

この営業活動において、当社は第2四半期会計期間中に例年通り新卒者の入社を迎え、今後の事業展開に向けた人材教育を進めてまいります。また、優れた人材の中途採用も積極的に推進しており、このような人員の増加と教育のための経費先行などによって、当社の平成22年9月期の業績予想につきましては、平成21年11月13日に発表いたしました業績予想から、変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末におけるたな卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法に算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	279,622	171,993
受取手形及び売掛金	131,650	127,469
商品及び製品	3,820,115	3,695,519
仕掛品	570	120
原材料及び貯蔵品	21,666	21,666
繰延税金資産	190,812	165,910
その他	111,234	71,921
貸倒引当金	△1,072	△1,072
流動資産合計	4,554,600	4,253,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,484,463	2,482,758
減価償却累計額	△1,052,147	△1,020,378
建物及び構築物(純額)	1,432,315	1,462,380
土地	2,175,269	2,175,269
その他	561,555	561,555
減価償却累計額	△491,814	△486,068
その他(純額)	69,741	75,486
有形固定資産合計	3,677,326	3,713,137
無形固定資産	46,954	52,911
投資その他の資産		
投資有価証券	31,620	41,879
差入保証金	318,831	318,881
繰延税金資産	83,978	78,763
その他	61,677	63,024
貸倒引当金	△27,614	△27,714
投資その他の資産合計	468,494	474,835
固定資産合計	4,192,776	4,240,883
資産合計	8,747,376	8,494,413

## (株)まんだらけ(2652) 平成22年9月期第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,804	44,579
短期借入金	2,425,001	2,711,667
1年内返済予定の長期借入金	341,972	392,672
1年内償還予定の社債	198,500	198,500
未払法人税等	110,644	32,758
賞与引当金	76,824	44,199
返品調整引当金	9,014	—
その他	216,453	298,648
流動負債合計	3,415,215	3,723,024
固定負債		
社債	1,028,250	1,032,000
長期借入金	1,307,910	800,028
退職給付引当金	168,822	156,481
その他	5,227	5,600
固定負債合計	2,510,209	1,994,110
負債合計	5,925,425	5,717,134
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金	1,117,380	1,117,380
利益剰余金	999,757	954,925
自己株式	△132,712	△132,712
株主資本合計	2,821,865	2,777,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	245
評価・換算差額等合計	86	245
純資産合計	2,821,951	2,777,279
負債純資産合計	8,747,376	8,494,413

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,818,810	1,891,300
売上原価	909,098	937,934
売上総利益	909,712	953,366
返品調整引当金繰入額	—	9,014
差引売上総利益	909,712	944,351
販売費及び一般管理費	821,005	823,525
営業利益	88,706	120,826
営業外収益		
受取利息	89	15
債務勘定整理益	—	8,085
その他	6,060	10,924
営業外収益合計	6,150	19,025
営業外費用		
支払利息	26,360	20,682
社債利息	6,084	5,690
その他	6,023	19,671
営業外費用合計	38,468	46,044
経常利益	56,388	93,806
特別利益		
貸倒引当金戻入額	100	100
特別利益合計	100	100
税引前四半期純利益	56,488	93,906
法人税、住民税及び事業税	23,078	73,561
法人税等調整額	3,386	△30,008
法人税等合計	26,464	43,553
四半期純利益	30,023	50,352

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	56,488	93,906
減価償却費	45,851	41,274
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,901	32,625
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	9,014
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,892	12,341
受取利息及び受取配当金	△133	△25
支払利息	32,445	26,373
為替差損益(△は益)	566	234
売上債権の増減額(△は増加)	△9,107	△4,180
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175,918	△125,045
仕入債務の増減額(△は減少)	15,675	△7,774
その他	192,429	△132,038
小計	138,188	△53,394
利息及び配当金の受取額	89	15
利息の支払額	△14,685	△7,920
法人税等の支払額	16,031	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,624	△61,302
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,360	△1,704
無形固定資産の取得による支出	△45,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	10,000
その他	4,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,860	8,295
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	880,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△755,000	△386,666
長期借入れによる収入	—	550,000
長期借入金の返済による支出	△92,345	△92,818
社債の償還による支出	△3,750	△3,750
リース債務の返済による支出	—	△373
配当金の支払額	△7,362	△5,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,543	160,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△566	△234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,740	107,629
現金及び現金同等物の期首残高	212,001	171,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	327,742	279,622



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。